



三原中だより

平成27年度 第9号
発行 平成28年1月26日
八丈町立三原中学校

「縦の関係」

校長 武田 真男

一年の中で最も寒さの厳しい時期に入りましたが、保護者、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。遅ればせながら、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本校は、12月から現在にかけて様々な活動を行ってきました。

12月13日(日)の意見発表会当日の午後の時間に、生徒同士の「意見交換会」を新たな活動として取り入れました。1年生から3年生までを6、7人の異年齢のグループに分け、自分の意見発表の内容に対する他者の意見や感想を聞くことや他者からの質問に対して自分の考えを表すことで、自分が描いた夢をさらに膨らませたり、自分の生き方や行動の仕方について意思を固めたりすることができました。

12月16日(水)には、全校道徳というこれもまた新たな取り組みをしました。テーマは相互理解。人間関係を上手くつくるが出来ない友人同士の会話を教員が寸劇で演じ、そこから人間関係をよくしていくためにどんなことを心掛けたらよいのかを生徒同士で話し合いました。この学習も異年齢のグループで行いました。

この二つの新たな取り組みに共通するキーワードは「縦の関係」です。学校生活の大半は同年齢の集団で送っており、人間関係が固定化する傾向にあります。そこに縦の関係をつくることで、自分の悩みを打ち明けられる人、自分に勇気と自信を与えてくれる人、時には自分の行動を改めさせてくれる人など、新たな人の存在を知り、学年を超えて支え合う人間関係をつくることができないかと考えています。縦と横の人間関係が上手く絡まり合い、全校生徒でよき学校を創り上げていくという気風を高めていきたいと思えます。

1年生は、全校道徳と同日に玉川大学の難波克己先生をお招きし、特別授業をしていただきました。「アクティビティ」と呼ぶ活動を通して、楽しみながら知らず知らずのうちに他者との違いや共通点に気付くことができました。この授業は2月1日にも予定しています。

2年生は、早いもので修学旅行の事前学習に入りました。6月に行った移動教室の経験を生かし、きつと一致団結しながら完成度の高い修学旅行を創っていってくれるでしょう。

3年生は受験期に入り、すでに島外の高校を受験している生徒もいます。現在、3年生と私との面接を行っています。3年生の清々しい身なり、誠実に力強く自分の考えを表現する姿に、さすが3年生と感心する日々の連続です。

1月は「往く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、とても短い3学期です。生徒には、一日一日の中で小さな目標を立て、それを実行し、年度の締めくくりにふさわしい充実した生活を送って欲しいと思えます。

〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-ky.ed.jp/miharachu/>

サイエンス部

平成27年度「学生科学賞」文部科学大臣賞・優秀賞

サイエンス部は、部活動として活動できるようになって3年目になります。今年の3年生は、1年生からサイエンス部員として研究活動を行ってきました。月木の放課後、土日の午後、夏休みは、ほぼ毎日活動してきました。目標は、日本学生科学賞の最終審査に進出すること。1, 2年生のときは、もう一步で都の代表になれませんでした。3年生になり2つの研究が、見事都の代表となり、最終審査に進出することができました。通知が届いたときは、部員全員で飛び上がるほど喜びました。3年間地道にデータを取り続けたり、繰り返し実験、検証を行ったりした成果が3年目で実りました。準備をして臨んだ最終審査では、審査員から鋭い質問が矢のようにあびせられるのを生徒たちは、精一杯自分たちの力で答えています。夢にまで見た貴重な体験をすることができました。3年間の活動を支えてくださった保護者や学校、地域の方々に感謝いたします。

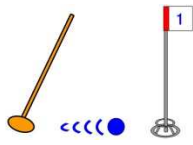
【サイエンス部顧問：川畑 喜照】



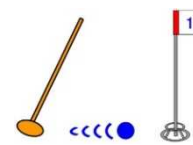
最終審査で日本の著名な科学者からの様々な質問に応じているサイエンス部の生徒たちです。緊張した雰囲気の中で、真剣に、しかも堂々とした態度で説明している様子が写真からも伝わってきます。

平成27年度にサイエンス部が受賞した輝かしい数々の賞をご紹介します。

- <第59回日本学生科学賞 最終中央審査>
文部科学大臣賞「固有種外来種、4種の関係を探る ハチジョウノコギリクワガタの研究Ⅲ」
優秀賞「青ヶ島の見え方の研究Ⅲ～古来からの島の伝承の深層を探る～」
- <第14回全国子ども科学映像祭>
文部科学大臣賞「青ヶ島の見え方の研究Ⅲ～古来からの島の伝承の真相を探る～」
優秀賞「何とかして ヤンバルトサカヤスデ」
- <第10回科学の芽賞>
科学の芽賞「壁を登る動物の足のつくりの応用 ヒトの力で壁を登る」
- <第59回学芸サイエンスコンクール サイエンスジャンル理科自由研究部門>
金賞 日本科学技術振興財団理事長賞「生活を便利にする粘着テープの研究」



地域交流会



12月22日は、地域の方と交流を深めることを目的として毎年行われている地域交流会ですが、今年初めてグラウンドゴルフを行いました。心配された天気にも恵まれ、気持ちよく行うことができました。スタートからボールを打ち、ホールポストに入れるという簡単なルールですが、なかなかホールポストに入れるのは難しく、白熱した戦いが繰り広げられました。2試合目になるとホールインワンも出始め、ますます盛り上がっていました。気持ちの良い天気の中、地域の方と楽しく触れ合うことができました。ご協力いただいた樫立、中之郷、末吉地域の皆様、ありがとうございました。【生徒会担当 鈴木えりこ】



新春大会（百人一首大会）

平成28年1月8日(金)

始業式の後、全校揃って百人一首大会が行われました。学年に関わらずいくつかのグループに分かれて、真剣勝負が繰り広げられました。

読み手を務めた校長先生を始めとする先生方が、読み慣れない百人一首の読み札に格闘する姿と子供たちの真剣な様子が新春にふさわしい雰囲気をつくりだしていました。

勝負が進み、場にある札が少なくなるにつれて、最初は広がっていた子供たちの輪がだんだんと小さくなり一人一人の距離が近くなっていく様は、見ていてとても微笑ましいものでした。

最後にはこの会を企画・運営してくれた生徒会の役員から、この日飛び入り参加して下さった地域の山下和彦さんをはじめ、優秀な成績を収めた子供たちに表彰状が送られました。





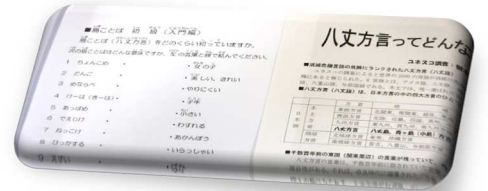
1年総合学習「方言学習」

1年は総合の時間で八丈方言の学習をしています。第1回目は教育委員会の茂手木先生を講師として『八丈方言にチャレンジ』という冊子を使って島言葉をクイズ形式で学習したり、世界消滅危機言語のひとつである八丈語について学んだりしました。また第2回目は樫立から菅原安世さん、中之郷から山下和彦さん、末吉から松代勝子さんを講師としてお招きしました。

「おみゃーの名前はあんどう？」

「われの名前は〇〇だらー」

「われはサッカーが好きだから、サッカーがんばろうわよー」



など、会話風に自分のことを紹介する表現を教えてくださいました。第3回目はこれまで学習した八丈方言をクラスで発表しました。地域の皆さん、三原中の1年生に出会ったら、島ことばで話し掛けてみてください。【1年担当 山入端 信之】



〈2月の主な行事予定〉

日	月	火	水	木	金	土
1/31	1日 朝礼 安全指導	2日 新入生保護者 説明会	3日 職員会議	4日 避難訓練 都立出願	5日	6日
7日 三原小学芸会	8日 朝礼 専門委員会	9日	10日 大賀郷中学校 研究発表会 (13:00 下校)	11日 建国記念の日	12日	13日 P連作品展
14日 P連作品展(父母と 教職員の集い 10:00~11:30 富士 中図書室)	15日 朝のつどい	16日 新入生説明会	17日 職員会議	18日 学年末考査 1週間前 SC勤務日	19日	20日
21日	22日 朝礼	23日 三原小学校 研究発表会	24日 都立入試	25日 学年末考査 1日目	26日 学年末考査 2日目	27日
28日	29日 学年末考査 3日目	3/1 避難訓練	3/2 都立発表	3/3	3/4 学習発表会リハ 職員会議	3/5 学習発表会 前日準備

* SC勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。(学校7-0057)

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈町教育相談室(2-0591) ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)